

各部会から出された主なご意見について



育む部会	(令和6年5月20日(月))	1
愛しむ部会	(令和6年5月22日(水))	2
備える部会	(令和6年5月23日(木))	3



各部会から出された主なご意見

部会名	意見項目			主なご意見
	経営課題	めざす成果 及び戦略	具体的取組	
育む部会	【経営課題1】 子どもたちが輝くまちづくり	【1-1】 子どもたちが笑顔で育つ 環境の実現	【1-1-1】 支援が必要な児童、生徒 への取組	
			【1-1-2】 全就学前児童への切れ目 のない見守り環境の整備	
			【1-1-3】 相談機能、情報発信の強 化と交流の場の充実	
		【1-2】 子どもたちの「生き抜く 力」の育成	【1-2-1】 児童、生徒の学力向上に 向けた取組	
			【1-2-2】 チャレンジ精神や課題解 決力を身につけたり、学 習の目的を見つけたりす る機会づくり	・プログラミングが実生活においてどのように役立っているのかが分かる動画を2次元コードから誘導すれば、こどもたちの興味や理解がより深まると思う。また、<u>動画視聴に至るまでのアプローチが重要であり、学校の先生や保護者の方に動画視聴に向けてご協力いただけるような取り組み</u>をしてみてもどうか。 ・プログラミング学習については様々であるが、例えば簡単なホームページの作成等役に立つ楽しい体験型の学習メニューを充実させることで、こどもたちの興味や関心を高めてみてはどうか。 ・キャリア教育として、プログラミングのような体験学習もいいが、イベント等で自分たちが考えたブースを出すのもいいと思う。相手があればやる気も出るのではないか。

各部会から出された主なご意見

部会名	意見項目			主なご意見
	経営課題	めざす成果 及び戦略	具体的取組	
愛しむ部会	【経営課題2】 すべての人が自分らしく 暮らせるまちづくり	【2－1】 地域の活力と魅力の向上	【2－1－1】 多様な主体による地域の 活力と魅力づくり	・企業・NPO・学校・地域交流会に、より多くの地域活動協議会が参加できるように取り組んでもらいたい。 ・困っている人を見つけるには、親子食堂・喫茶・百歳体操や地域行事などの参加者の情報交換が大切であり、細かい情報の発信は地域で行う必要があるので、そのための支援をお願いしたい。
			【2－1－2】 地域活動協議会による自 律的な地域運営の促進	・まちづくりセンターの受託事業者が今年度から新しくなったが、SNSによる情報発信が進んでいない。できるだけ早期に積極的な情報発信を行ってほしい。 ・会館の場所や、喫茶・百歳体操等をやっていることを知らない住民がまだまだ多いので、マンションの掲示板などみんなの目に触れる場所に掲示してもらうなどの方法もあるのではない か。 ・子どもが小・中学校を卒業した家庭や夫婦のみ、一人暮らしの方等は地域の情報が得にくく、困ったときの相談などは近所のつながりが大切になる。地域の回覧板や掲示板の活用、地域行事への声掛けなど地域でのつながりづくりが重要だと思う。
			【2－1－3】 地域の魅力の共有と発信	
		【2－2】 支え見守りあう地域づくり	【2－2－1】 安心を提供する福祉施策 の推進	・職員への「感度の向上」や「気づき」に関する研修によってどのように改善されたのか、説明してほしい。
			【2－2－2】 地域福祉の充実	・取組内容やかかわり方を考えるためには、地域ごとの課題や魅力について発信することが大切で、発信の方法に加えて、どのような情報を発信するのかについて支援が必要ではないか。 ・一般介護予防事業について参加者が増えるように周知等にさらに力を入れる必要があると思う。
		愛しむ関連		・孤独・孤立対策推進法の施行に関わって、高校卒業後に就職できていないなど、どこともつながりがないユース世代などに目を向けた取組を進めてもらいたいと思っているので、市の取組が決まれば報告をお願いしたい。

各部会から出された主なご意見

部会名	意見項目			主なご意見
	経営課題	めざす成果 及び戦略	具体的取組	
備える部会	【経営課題3】 安全・安心なまちづくり	【3-1】 災害に負けないまちづくり	【3-1-1】 自助・近助・共助による防災力の向上と圧倒的多数の人材育成	・<u>災害への備えを我がこととするための工夫</u>として、国土交通省の浸水ナビ、気象庁の情報ツールなど、いろいろなツールを周知してはどうか。また、災害への備えは家屋の倒壊を防いでこそ意味があるので、家屋の耐震化の重要性を周知する必要があると思う。 ・災害想定のひとつである浸水想定を知ってもらう工夫として、地域の意向もあると思うが、電柱等に浸水深を表示してはどうか。 ・<u>防災訓練へ幅広い世代が参加してもらうための工夫</u>として、フリーマーケットなどの若い人が集まるイベントの中で訓練等を実施してはどうか。 ・防災訓練を例年同じ日に実施し、定例化することで参加者に認知してもらうのはどうか。 ・小学生の防災訓練に地域も参加し、顔見知りとなることで地域の防災力向上につながっており、有効だと思う。 ・連合単位だけでなく、最も顔見知りの町会単位での訓練は有効だと思う。 ・<u>災害時に向けたペットの備えについての有効な周知方法</u>として、地域にペットの飼い主のネットワークがあるので、そこでの周知は有効だと思う。 ・災害への備えとして、能登地震でもトイレの問題が大きな課題であった。簡易トイレの備蓄や南港中央公園のマンホールトイレの活用が重要だと思う。 ・有効な周知方法として、地域において啓発活動ができる講師を育成し、地域の中で啓発することが重要ではないか。
			【3-1-2】 減災のための環境整備	
		【3-2】 犯罪のない安心して暮らせる環境の整備	【3-2-1】 防犯意識の向上に向けた啓発	・地域のイベントのなかで、ひたくり防止ののぼりをたてるなどして啓発をしてはどうか。
			【3-2-2】 街頭犯罪抑止のための環境整備	